

## 令和3年度春期 システムアーキテクト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,6,25

4月18日(日)に行われた令和3年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。新型コロナの影響で昨年10月に実施予定だった試験が延期され、今年の4月に実施されたものです。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、システムアーキテクト試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■システムアーキテクト試験 (SA)

[令和3年度春期 システムアーキテクト試験 統計情報]

応募者	5,447人
受験者	3,433人
合格者	567人
合格率	16.5%

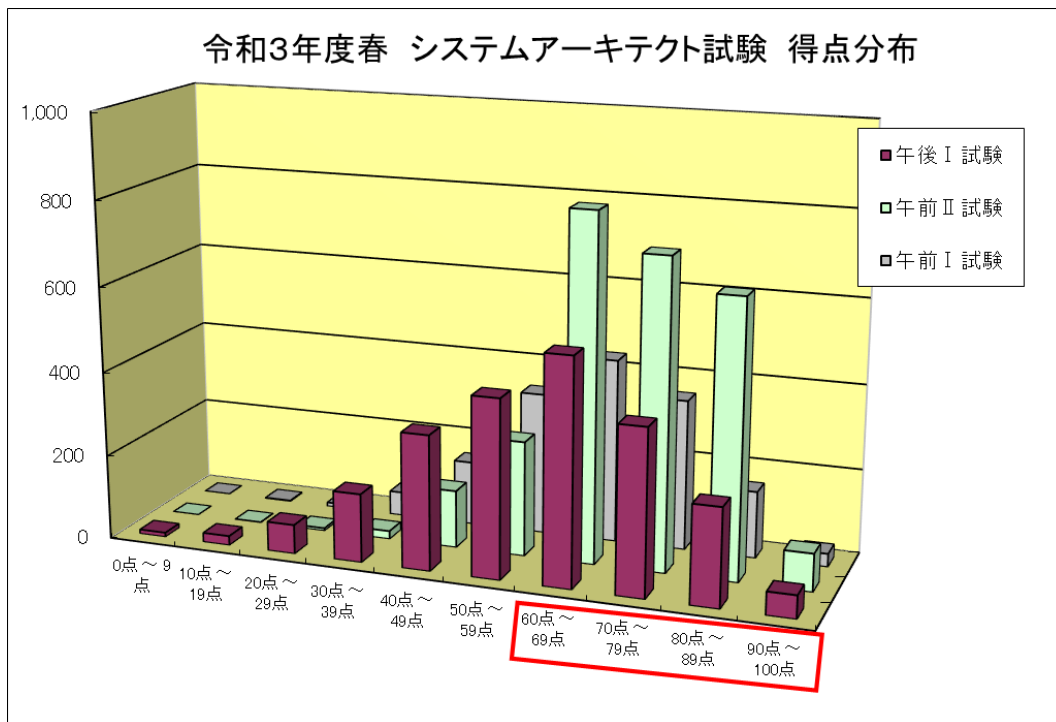
令和3年度春期のシステムアーキテクト試験の合格率は16.5%で、前回の15.3%から上がりました。これは平成21年以降の現在の試験制度になってから最も高い結果です。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度春期 システムアーキテクト試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	10	D 127	
10点～19点	2	1	22		
20点～29点	9	6	69	C 152	
30点～39点	57	19	162		
40点～49点	152	136	318	B 348	
50点～59点	336	271	419		
60点～69点	434	813	530	A 567	
70点～79点	355	725	389		
80点～89点	158	649	230		
90点～100点	31	89	54		
計	1,534	2,709	2,203	1,194	567
対前試験比率		176.6%	81.3%	54.2%	47.5%
午前Ⅰ免除者(概数)	1,899	55.3%			

合格者数	567	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	978	63.8%	411
午前Ⅱ60点以上合計	2,276	84.0%	1,709
午後Ⅰ60点以上合計	1,203	54.6%	636
午後Ⅱ-A評価	567	47.5%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 1,899 人 (55.3%) でした。

午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 978 人 (受験者の 63.8%) で、前回の 59.3% に比べて上がっています。午前 I 試験問題がやや易しかったことが結果として現れたといえます。

午前 II 試験で基準点以上の人は 3,253 人 (受験者の 84.0%) で、前回 77.6% からかなり上がりました。問題自体は難しい問題が少なく、比較的解きやすかったといえます。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 54.6% で、前回試験の 61.8% よりも下がっています。

午後 II の論述式試験で合格点 (A 評価) を取ることができた人は 47.5% で、こちらは前回の 41.2% から約 6% 上がりました。新しいアジャイルを含む出題でしたが影響なかったようです。

## ■令和 3 年度春期 システムアーキテクト試験 出題内容について

### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5~6 割で、以外と難しく、足元をすくわれぬよう確実に対策を進める必要があります。

問題内容は、文章問題は 17 問 (前回 14 問から増)、用語問題は 5 問 (前回 7 問から減)、計算問題が 2 問 (前回 5 問から減)、考察問題が 6 問 (前回 4 問から増) でした。これらは毎回増減がありますが、今回は文章問題がいつもより多い傾向でした。

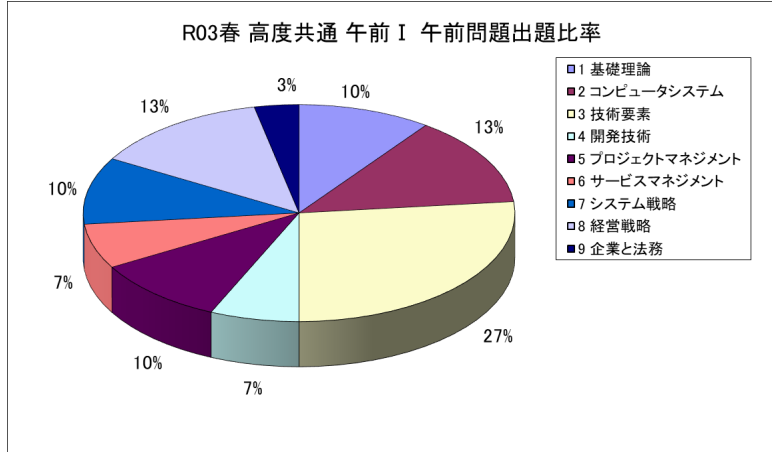
- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、今回は、ヒューマンインタフェース、サービスマネジメント、技術戦略マネジメント、企業活動からの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいですが、今回は 8 割ありました。内容的には定番問題が多く解答しやすかったといえ、全体として前回よりも少し易しかったと思われます。
- ・新傾向問題は次の 2 問で前回の 8 問からかなり減っています。以前は平均 4 問程度あったので少なかったといえます。

(新傾向問題)

問 6 ページアクセス時に発生する事象の回数

問 28 アグリゲーションサービスに関する記述

令和 3 年度春期 高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

システムアーキテクト午前 II 試験の重点出題分野はシステム開発技術とシステム企画ですが、システム開発技術の出題がほとんどです。今回、品質、レビュー、テスト関連問題が 7 問ありました。また、今回の試験から重点分野だったセキュリティ (レベル 4) は、4 問出題されました。前回 3 問でしたので 1 問増加にとどまっています。

過去問題は全体の 7 割で、システムアーキテクト試験の過去問題は前回に続き少なく、他の高度試験や応用情報技術者試験の過去問題が出題されています。

新傾向問題は次の 7 問で、やや難しい内容でした。

問 2 垂直型プロトタイプに該当するもの

問 5 マイクロサービスアーキテクチャの利点

問 11 保守プロセスの修正実施を開始するプロセス

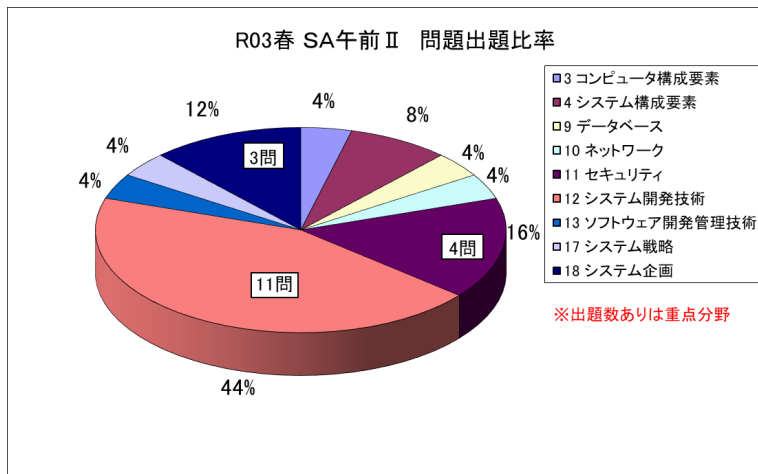
問 13 ビジネスモデルキャンバスの説明

問 16 カスタマーエクスペリエンスの説明

問 19 “NOTICE” という取組

問 25 TCP のポート番号を調べるコマンド

令和 3 年度春期 システムアーキテクト試験 午前 II 問題出題比率



### (午後Ⅰ試験(記述式))

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。今回試験は問4を除いて事務処理関連問題といえ、少し偏りがある内容だったといえます。ちなみに、前回は、サービスデザイン思考、ICタグ、AIなど、新しい技術や考え方を取り入れた問題事例がありました。

#### 問1 企業及び利用者に関する情報の管理運用の見直し(試験研究機関) 普通

現行業務の概要、企業・利用者情報の管理運用、現行のマスタファイル、運用の改善要望、管理運用の見直し、バーコード情報、マスタの用途、企業DBの購入理由、刷新後のマスタ情報

#### 問2 配達情報管理システムの改善(運送会社) 普通

業務の概要と流れ、宅配便サービス改善要望、改善後の配達システムの新機能と配達業務の概要、端末とシステムの連携情報、通知する情報、配達状況の変更実施理由と営業所で行う作業

#### 問3 融資りん議ワークフローシステムの構築(銀行) やや易～普通

現状の融資りん議業務、現状の問題点、ワークフローシステムの概要、追加要望への対応、不要になる作業、機能実施する条件、アラーム通知機能で解決される問題点、レコード抽出条件

#### 問4 IoT, AIを活用した消火ロボットシステム(消防活動機材製造会社) やや難

システム運用例、仕様・機能、新たな取組方針と開発目標、AI技術の利用、仕様・機能、改善事項、サーバデータの活用、施設情報の活用目的、監視・指令装置の情報、水源決定の考慮事項

### (午後Ⅱ試験(論述式))

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問1のアジャイル関連の問題は新しい内用といえます。

#### 問1 アジャイル開発における要件定義の進め方について

対象業務とシステム概要、アジャイル選択理由、ユーザストーリーの分類・難易度調整、優先順位

#### 問2 情報システムの機能追加における業務要件の分析と設計について

機能追加した対象業務・システムの概要、環境の変化、業務要件、分析した視点と設計内容、工夫

#### 問3 IoTの普及に伴う組込みシステムのネットワーク化について

システム概要、端末とネットワークの目的、機能の分担検討、決定理由、想定障害と回避策、課題

